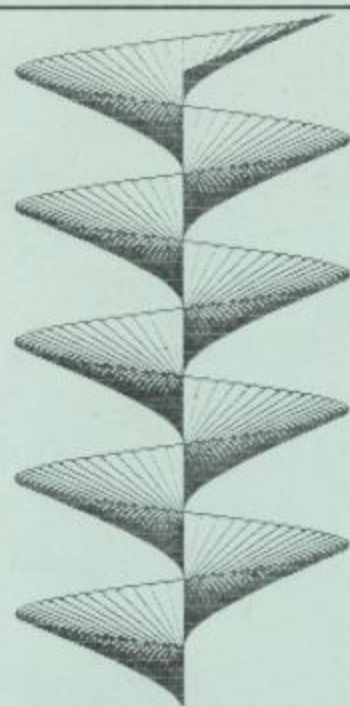


第 11 号



パピルス & エレクトロニクス

はあひろにくす

大阪工業大学中央図書館

〒535 大阪市旭区大宮5-16-1

06-952-3131

がんばれ新入生 先輩と語る

春。4月は新入生諸君にとって希望に輝く時期でしょう。今ほど身も心も軽やかなことはないと思います。

さて、図書館では次のようなサービスを行っております。

1. 貸出・返却：3冊・2週間。
2. 文献複写：第2図書室（3階）に設置の複写機が利用できます。
3. レファレンス：(1)図書館の利用案内、(2)資料の見方・使い方、(3)資料の所在調査、(4)参考文献の紹介、(5)所蔵検索用端末機の使い方。
4. 相互利用：相互利用は相手館の規則によって受けられるサービスの内容が異なりますが、だいたい次のようなサービスになります。
 - (1)閲覧；本学図書館発行の依頼状および学生証が必要です。
 - (2)複写；複写料および郵送料は申込者の負担になります。
 - (3)貸出；貸出しについては制限しているところが多いようです。
5. 希望図書購入制度：諸君の必要とする図書が図書館にない場合は、優先的に購入しています。申し込みから貸出しができるまで1～2週間かかります。
6. 日曜開館：前期・後期の試験に入る前とその期間中の日曜日に限り開館します。

(昭和59年1月から実施)

以上、図書館のサービスについて簡単に紹介しましたが、これには2つの理由があります。1つは図書館のサービス内容を具体的に知ってもらいたいということ、2つ目はできるだけ早い時期に図書館へ足を運び、図書館の利用方法について肌で感じて欲しい為です。さしあたって、工大の前期試験の頃（7月上旬～中旬）に利用しようとする人は、入館者の数が通常の2倍（約3,000人/1日）になり大変混雑しますので注意して下さい。

さて、図書館の利用について諸君の先輩はどのように考えているのでしょうか。二人の先輩に聞いてみました。

(図) ちょっとおじゃまします。図書館の利用について聞きたいのですがよろしいですか？

——(A君・B君うなづく)

(図) 今、君達はそれぞれ雑誌(A君)と新聞(B君)を見ているわけですが、図書館へはどのくらいの頻度で来ますか？

(A君) レポートと試験の時だけです。あとは自分の好きな雑誌を見る時ぐらい……。

(B君) 割と来ます。新聞をここで見ますので。

(図) エーと、君達は今年、何年生ですか？

(A君・B君) 4年生です。

(図) 卒業年次にあたるわけですが卒業研究のテーマ等が決まっていたら教えて下さい。

(B君) 残念ながらちょっと単位が不足して

卒業研究着手の許可をもらえませんでした。ですから卒業研究は来年です。

(A君) 僕も卒研着手に必要な単位が取れませんでしたのでまだ先の話になります。

(図) そうすると二人とも卒業までに最低あと2年間は学生生活を送るわけですね。

ところで入学後はじめて図書館に来たのはいつ頃ですか？

(A君) 2年生の時です。

(図) えっ！1年生の時は図書館を全然利用しなかったのですか？

(A君) ええ。1年生の時はクラブとバイトで授業にも出ませんでした。

(図) B君はいつ頃ですか？

(B君) 1年生の9月頃です。

(図) それぞれ、どんな資料を見に来たのですか？

(A君) 僕はレポート作成のために物理関係の資料を見に来ました。

(B君) 時刻表です。旅行を計画していましたので……。

(図) はじめて図書館に来た時の印象で記憶に残っていることがあったら聞かせて下さい。

(A君) 利用方法がわからずカバンを持ちこんでおこられました。(笑)

(B君) 入口のカウンターが正面を向いているでしょう。あれが、なんとなく抵抗感がありましたね。

(図) 先程、図書館へ来るのは「レポートと試験の時だけ」という話がありましたが、なぜでしょうね。

(A君) それは……何というのか図書館自体には興味がなくて、成績に関係する時のみ仕方なく利用する訳です。普段は必要ないですね。

(図) なるほど、レポートや試験の時以外は図書館に興味が無い!? では、A君がレポートや試験以外の目的で図書館へ来るとしたらどういふ場合ですか？

(A君) 自分の趣味の本を見に来ます。でもこの(手元の雑誌の表紙を見せて)「オートバイ(月刊誌)」くらいですね。

(図) B君の趣味は何ですか？ 差支えなかったら教えて下さい。

(B君) ええ、僕はSFが好きで図書館の「SFマガジン」をよく読んでいます。

(図) 第1図書室の壁ぎわには文学作品が並んでいますが、そのあたりの本は利用したことがありますか？

(A君) 全然読んだことがありません。

(B君) 僕もどちらかというあまり利用していません。もっぱら入口のところにある「文庫」の方を利用しています。また、ない本は自分で買いますし、好きな作家の本はたいてい自分で買います。

(図) 今、「ない本は自分で買う」ということでしたが、図書館でやっている「希望図書購入制度」というのは知っていますか？

(A君) 以前は知らなかったが、今は知っています。

(図) 知ったきっかけは何ですか？

(A君) 調べものがあって資料を探しに来た時、係の人が教えてくれました。

(図) B君はどうですか？

(B君) 僕は「図書館利用案内」っていうんですか、あの小さいパンフレットに書いてあるのをみて知りました。

(図) 今まで利用したことがありますか？

(A君) 3回程利用しました。

(B君) 僕も3回です。1冊、1万円もするコンピュータグラフィックスの本です。

(図) 利用した印象はどうでしたか？

(B君) 最初は申し込みの用紙のある場所や記入にとまどいましたが、受付の人が教えてくれました。

(A君) 僕も何か言われるかなと思いながら恐る々出してみたんですが、すんなりと受け付けてもらえました。

(図) それはどんな本でしたか？

(A君) 僕の田舎の郷土史であんまり他の学生が読みそうな本じゃないんです。

(図) どうも長々とありがとうございました。最後に新入生の諸君に何かあったら聞かせて下さい。

(B君) やっぱ、入学してから半年ぐらゐの間に、4年で卒業できる学生生活のパターンをつくるということですね。そのために利用

方法やどこにどんな本があるかを知っておくことは有益なことですね。まあ希望を持って入ってくるわけだから、その希望がしばまないような生活パターンを早く見つけるということです。

(B君) 僕は今まで図書館に興味を持たなかったんですが、その原因はというと自分自身が「本を知らなかった」からなんです。どうということかということ、本の探し方とか、探している内容がどの分野に属するのか、といった

ことについて全くわからなかったのです。まあ、係の人に聞けばよかったのかもしれませんが、なんとなくおっくうで聞きませんでした。それで結局「図書館には本がない」と思いこんでしまいましたが、けっこうそんな人が多いと思います。

(図) どうも貴重なご意見ありがとうございました。今後とも図書館について何かありましたら聞かせて下さい。待っています。

シリーズ『淀川ぶらり散策』

第5話 豊里大橋と 平田の渡し

淀の川面は、春の暖かい日ざしにつつまれている。水面に映る豊里大橋の姿は、ゆらゆらと波間に漂い、のどかな風景を呈している。

豊里大橋のあたりを望むと、その美しい橋の姿とまわりの景色——公園化と整備の進む河川敷、改修された堰堤、風情を残すわんど等々——とがマッチして、どこか異国情緒あふれる絵になる構図を浮かび上がらせている。

今回は、「豊里大橋」とこの橋の完成によって廃止となった「平田の渡し」について書いてみることにしよう。

「はし」は溪谷、河川、鉄道や道路によって隔てられた地点と地点を結ぶために造られた建築物である。このように間を結ぶ「はし」には、構造上の丈夫さがまず求められるが、同時に美しいことがまた重要な要素として求められる。城は高さの美を、橋は長さの美を持つと言われる。橋の美は、橋そのものの美しさだけではなしに、環境との適合性、周囲との調和の美である。環境との融和調合する中において画き出される景観全体としての美が、橋の美しさということが出来る。その意味において豊里大橋は美しい橋である。

豊里大橋が昭和45年3月に完成したのに伴い、同月3日約300年続いた「平田の渡し」が廃止された。今は、豊里大橋の南詰下流に「平田の渡し跡」の記念碑が残るだけであるが、往時には1日3,000人の乗客と、670台の自転車を運ぶ旭区太子橋と東淀川区大道町を結ぶ、唯一の交通機関として、延宝4年(1676年)

頃に発足したと伝わる。元々は個人経営であったが、明治40年に大阪府の公営となり、大正8年に道路法の施行により認定道路「東淀川386号」となった。その後大阪市営となり、戦後の周辺部の市街地化が進むにつれ、利用者が激増し、住民の重要な足として機能していた。しかし、昭和30年以降急速にモータリゼーション化が進み、人のみを輸送する渡しでは対応出来なくなり、新しい橋の架橋となった。このようにして、淀川の風物詩として人々に親しまれ愛されて来た「平田の渡し」は、多くの思いを残しながら新しい「豊里大橋」にバトンタッチされた。

豊里大橋は、淀川本川に架る唯一の斜張橋(通称弥次郎べえ橋)で橋の長さは、約928メートル、幅18メートルの大橋である。昭和45年のこの橋の完成後、淀川右岸・左岸の景色は一変し、高速自動車道や高層マンションが建ち並ぶ、近代的な装いの街並みへと変貌を遂げていった。橋は、兩岸に立つ水面から45メートルの高さのA字型の塔と、この塔から斜めに張られたザイルで構成されている。ザイルは塔からそれぞれ左右に90メートル、45メートルにふり分けて、流線型の台形箱桁に固定されている。色は、塔とザイルがアイボリーホワイト、橋桁はコバルトブルーで、夜間には1キロワットのライト4基が輝き、斜張橋の特長といわれる軽快さと明るさを持つその美しい姿を夜空にくっきりと浮びあがらす。

「第5話 豊里大橋と平田の渡し」 完

図書館活用の手引き ⑩

「雑誌をうまく 利用するには」

学術雑誌室（2階）へは第2図書室（3階）のらせん階段を利用して下さい。

〈利用方法〉

1. まず最初に、自分の見たい雑誌が所蔵されているかどうか、メインカウンター（3階）に置いてある「雑誌目録」で確かめる。

2. 所蔵が確認されたら、「利用者名簿」に必要事項を記入し、「入室票」を持って入室する。

3. 各室の所蔵範囲

学術雑誌室：最新号を含む当該年度分

雑誌書庫：1975～1985（過去10年分）

雑誌リスト

〈 受 入 雑 誌 一 覧 〉				大阪工業大学 中央図書館					
コード	NDC	箱番	雑誌名	コード	NDC	箱番	雑誌名		
K300	AZ86	365.405	838	家計調査報告	K445	BZ86	330.5	169	経済月報
K350	UZ86	310.9	2104	官報	K455	BZ86	330.5	170	経セキ（経済セミナー）
K370	CZ86	519.805	727	官公庁公害専門資料	K480	BZ86	330.59	171	経済統計月報
K380	CZ86		728	環境技術	K475	JZ86	520.5	2022	建築文化
K390	CZ86	517.05	729	河川	K480	AZ86	520.5	839	建築知識
K395	NZ86	565.505	955	軽金属	K485	JZ86	520.5	2014	建築界
K410	NZ86	509.805	956	計量管理	K490	AZ86	520.51	840	建築技術
K415	BZ86	317.7	168	警察学論集	K500	AZ86	528.05	841	建築設備
K420	EZ86	501.905	404	計装	K510	AZ86	520.2	842	建築史学
K425	NR86	501.905	957	計測技術	K520	JZ86	520.5	2019	建築と社会
K430	DZ86	501.905	347	計測自動制御学会論文集	K530	JZ86	520.5	2020	建築雑誌
K440	DZ86	501.22	348	計測と制御	K532	CP86	510.55	730	（月刊）建設

6. 製本雑誌

学術雑誌室にある雑誌は発行されて約1年後、合冊製本し、雑誌書庫に配架する。製本期間は40日間かかりその間の利用はできない。

7. 第3図書室内の雑誌利用

受付はメインカウンター（3階）で行っている。資料請求票に次の事項を記入し、係員に提出する。

- ①雑誌名 ②巻号 ③論題 ④著者名
- ⑤ページ等。

8. 複写

複写機は3階メインカウンター横の複写機が利用できる。閲覧した資料は元の位置に戻しておくこと。

9. その他

不明な点はメインカウンターの係員まで。

編集後記

☆二人の学生から貴重なアドバイスをいただきました。新入生の諸君にとってなにか参考になるものがあれば幸いです。大いに学びかつ遊んで欲しいものです。

☆現在、豊里大橋の下流に64年春の完成を目

指して淀川新橋（仮称）の工事が進捗している。これは菖蒲で有名な城北公園の真ん中を通り、大阪工業大学はちょうどこの二つの橋にはさまれるようになる。

☆図書館の活用方法はいろいろあるが、活用するための情報を今後とも提供していきたい。